

県など緊急雇用対策本部

小千谷・長岡で立ち上げ

体職
導退
半望
洋希

新潟県と新潟労働局は25日、緊急雇用対策新潟本部第6回会合を開き、小千谷市役所で初会合を開く見通し。

初会合には、県のほか小千谷市、長岡市の担当者や商工会議所関係者らが参加する。三洋半導体製造から状況説明を受け、対策を協議する。

同社は米オン・セミコンダクター傘下で、新潟工場はアナログ半導体や

大規模集積回路(LSI)の前工程を担っている。半導体市況の悪化に加え、昨年のタイ洪水で親会社が持つ現地の後工程工場が被災。新潟工場の生産が落ち込んだ。希望退職者はすでに200人に達しており、30日に退職する見通し。

新導局によると、4月の県内有効求人倍率(季節調整値)は0・82倍。同局は基調判断を「引き続く改善の動きが見られる」としている。ただ、上越地域で他にも希望退職者を募集した企業があるなど、雇用環境悪化の動きも見られる。

新潟労働局は25日、緊急雇用対策新潟本部第6回会合を開き、小千谷市役所で初会合を開く見通し。

同社は米オン・セミコンダクター傘下で、新潟工場はアナログ半導体や

大規模集積回路(LSI)の前工程を担っている。半導体市況の悪化に加え、昨年のタイ洪水で親会社が持つ現地の後工程工場が被災。新潟工場の生産が落ち込んだ。希望退職者はすでに200人に達しており、30日に退職する見通し。

新導局によると、4月の県内有効求人倍率(季節調整値)は0・82倍。同局は基調判断を「引き続く改善の動きが見られる」としている。ただ、上越地域で他にも希望退職者を募集した企業があるなど、雇用環境悪化の動きも見られる。

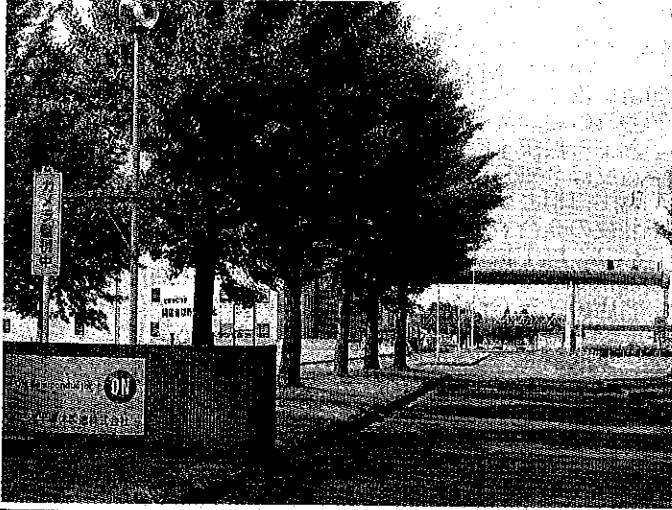
三洋半導体 希望退職

地元「再就職先確保を」

工場再編後の増員に期待

約200人が希望退職することが明らかになった小千谷市の三洋半導体製造新潟工場。同市によると、従業員約千人のうち4割ほどが小千谷市民で、残りは市外の中越地域から通っているという。従業員は「親会社が決めたことなので」と言葉少な。同市幹部は「会社でしっかり再就職先を確保してほしい」と求めた。

小千谷市千谷の新潟工場。希望退職者向けの説明会「中堅幹部は25日、取材」場では24、25の両日、希望が開かれた。新潟工場



今月末に200人が希望退職することが明らかになった三洋半導体製造新潟工場。25日、小千谷市千谷

親会社の三洋半導体からは4月下旬に希望退職の募集方針を伝えられた。市は再就職支援を強く要請。これに対して同社からは「しっかりと増員が見込まれる」と答

小千谷・長岡にも対策本部を設置

来月、再就職調査

小千谷市の三洋半導体製造新潟工場で大規模な雇用調整が行われることなどを受け、県や厚生労働省新潟労働局でつくる緊急雇用対策新潟本部は25日、県庁で会合を開き、小千谷・長岡地域にも対策本部を同日付で新設することを決めた。7月に離職者の再就職や創業などのニーズ調査を行い、今後の支援策を検討する。

会合で労働局は、長岡地域で3月の有効求人倍率0・81倍が4月に0・71倍まで低下し、求人数も減少したと報告した。新潟本部は、三洋半導体製造の雇用調整のほかに、4月に長岡市栃尾地域の繊維業者の廃業に伴い50人規模の離職者が出

弁している。

谷井市長は25日、「二時的に従業員数が減るだろうが、(新潟工場への)係者は取材に対し「決ま

集約により今後増えること期待したい」とコメント。しかし、同社関係者は「雇用問題

つたわけではないが、それほど多くの増員は見込めないだろうと漏らす。同市幹部は「雇用問題

「は中越地域全体の広域的な問題。労働局や県でしっかり対応してほしい」と注文した。

達が必要かどうか意向を確認したい」として